

平成20年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）
「アンケート結果に応じて」

| | | | | | |
|--|------------|----------|------|---------|-------|
| 所属部局 | 人文学部 | | 氏名 | 黄 愛珍 | |
| 講義コード | 2279005010 | | 講義名 | 経済理論入門Ⅱ | |
| 開講曜日 | 月曜日 | 11・12 時限 | 専門科目 | | |
| 授業回数 | 14 回 | 休講回数 | 0 回 | 補講回数 | 0 回 |
| | | | | 受講登録者数 | 105 人 |
| 成績評価に際し注意した事項 | | | | | |
| 平常点（出席等）(20%)と期末試験(80%)で評価しました。 | | | | | |
| 報告内容 | | | | | |
| <p>まずは、授業アンケートに答えてくれた受講生に感謝を申し上げます。</p> <p>受講生は経済学科と法学科の夜間主の学生からなる105名であり、半数以上が法学科の学生でした。回答率は70%でした。</p> <p>授業の満足度に関しては、アンケートの結果を見る限り、比較的高評価が得られたと考えています。カルテのグラフによると、「学生が重要であると考え、その満足度が高い項目」としては、①授業の主題・テーマが明確である（83.8）、②学生の質問・相談に応じる姿勢があった（83.8）、③教員の声が聞き取りやすい（82.4）があげられます。</p> <p>一方「学生が重要であると考えているが、その満足度が低い項目」としては、授業の難易度は妥当である（52.7）があげられています。アンケート結果を見ると、回答者数74人のうち、3人が「難しかった」と答えています。この点に関しては、受講生の半数以上が法学科の学生のため、当初予定を変更して、内容を出来るだけやさしく、わかりやすく講義したつもりです。そのため、当初予定していた内容をすべて講義できなかったのが残念に思っています。自由記述欄には「予定量が全部完了したのかな」というコメントが出ているのはこのためです。また後述「自由記述欄」の肯定意見をみても、授業内容が決して難しすぎることはないといえます。</p> <p>授業評価アンケートの記述内容（自由記述欄）について、よかったところとして、「生徒の反応を確認しながら、大切なこと、覚えなきゃいけないことをちゃんと明確にしてくれた」、「分かりやすく説明してくれた、3人」、「わからなかったことを次週の講義のときにわかるまで詳しく説明してくれているところがいい」、「ペースがよい、2人」、「授業内容がとてもわかりやすく構成されており実にわかりやすかった」、「声大きい、字が大きかった、6人」、「基礎的な知識を得ることができた」、「毎回、前回の授業の質問への返答や復習をおこなってくれたこと」、「例を出して説明するのがとってもわかりやすい。難しそうなところを繰り返してはなしてくれるところ」、「経済に対して興味をもてた」、「出席カードなどで質問ができ工夫されている」、「理論だけでなく、時事に即した話もしてくれて、とても勉強になった」、「いままで知らなかった経済理論がよくわかった」があげられています。</p> <p>改善すべき点としては、「計算問題が難しかった、2人」、「黒板だけでなく、授業内容のプリントを配布していただきたい」、「たまに聞き取れなかったり、漢字がわからないものがある」、「字が読めないときがある」、「理論なのでしょうがないが授業が理屈っぽくてすこし退屈」、「進度が多少早かった」、「黒板に書いてほしいところが多々あります。口頭だけでは理解が追いつかないので」、「予定量が全部完了したのかなと思った。進度が丁寧だったので」があげられています。</p> <p>たくさんのコメント、ありがとうございました。受講生からの意見（特に否定的なもの）には最大限耳を傾けながら、すぐに改善できる箇所から取り組んでいきたいと思っています。今後よりよい授業作りを心がけていきたいと考えています。</p> | | | | | |